

SENSHU INTERNATIONAL CITY MARATHON THE 3th CONVENTIONS



2月18日

天 候：晴れ
気 温：9℃
参加者数：2,287人
完走者数：1,848人
沿道人数：49万人

第3回
大会
コース

大浜公園(スタート)→井原の里→熊取西→貝田交
差点→積善橋北→脇浜交差点→沼町交差点→岸和
田市中央公園(ゴール)

前年度は震災のため、やむなく中止となった泉州国際市民マラソン大会は、地域住民の他、大阪府のみならず近畿・全国にも評判が行き渡り、出場枠の3倍の申し込みがあった。年ごとに参加希望者が増えてきた大会であるが、予備申し込みの段階で、地域性を配慮し、抽選により当選者を決定した。

今回も各市町の友好・姉妹都市より招待された選手が参加し、国際色豊かなマラソン大会となった。

コースは、運営母体の9市4町を極力走路に取り込もうと、大浜公園より井原の里、熊取、貝田を経て、貝塚の積善橋北交差点から岸和田市に戻り、沼町から岸和田市中央公園までのコースとなった。

大会当日は、夜半からの大雪で、開催が危ぶまれたものの、スタート時には自治会や子供会の役員、ボーイスカウト、交通指導員など地元の住民約5千人が「選手のために…」と、走路の整備を行い、予定通り開催することができた。2,500人のランナーは地域ボランティアの温かさの中を沿道の49万人の熱い声援を受け、快適に泉州路を駆け抜けた。しかし、フィニッシュ地点の岸和田市中央公園競技場は、かき分けた残雪で水浸しとなり、ぬかるんだ花道となった。

レースは、招待選手のラッセ・ビレンや中山竹通ら有名選手の参加で豪華な顔触れであった。中山竹通は10kmを過ぎてからは往年のスピードを生かし、前半の貯金とレース経験が生かされ独走のレース展開で、若手の実力ランナー山口賢や第1回大会優勝の桑原和雄をおさえての優勝であった。女子は外国勢をかわし、賀好陽子が力強い走りを見せ、大会新で優勝した。

この大会は、初めて大阪府の友好姉妹提携であるオーストラリアのクインズランド州ヌーサマラソンと選手の相互派遣する交流がなされた。

ボランティア精神の温かさが早朝の雪を溶かし、まさに「泉州が一つ」になった大会であった。





前夜祭で特別招待選手が壇上で勢揃い

雪が残るコースを力走



声援にこたえながら
力走する高石ともや

マロキ(マロキ) 2月19日(月曜日) 第3回 泉州 泉州 泉州

一斉にスタートしたランナーたち(朝日新聞19日付)

泉州市民マラソン

2千287人春へ疾走

震災振り切り多数参加

白銀舞台 国際色豊かに

泉州切符取った

沿道の声援に感激

だんじり囃子で景気づけ

1996年(平成8年) 2月19日付朝刊



優勝
第3回大会

男子
陸上部監督
大阪産業大学
中山竹通

賀好陽子

女子
大塚製薬
賀好陽子

